

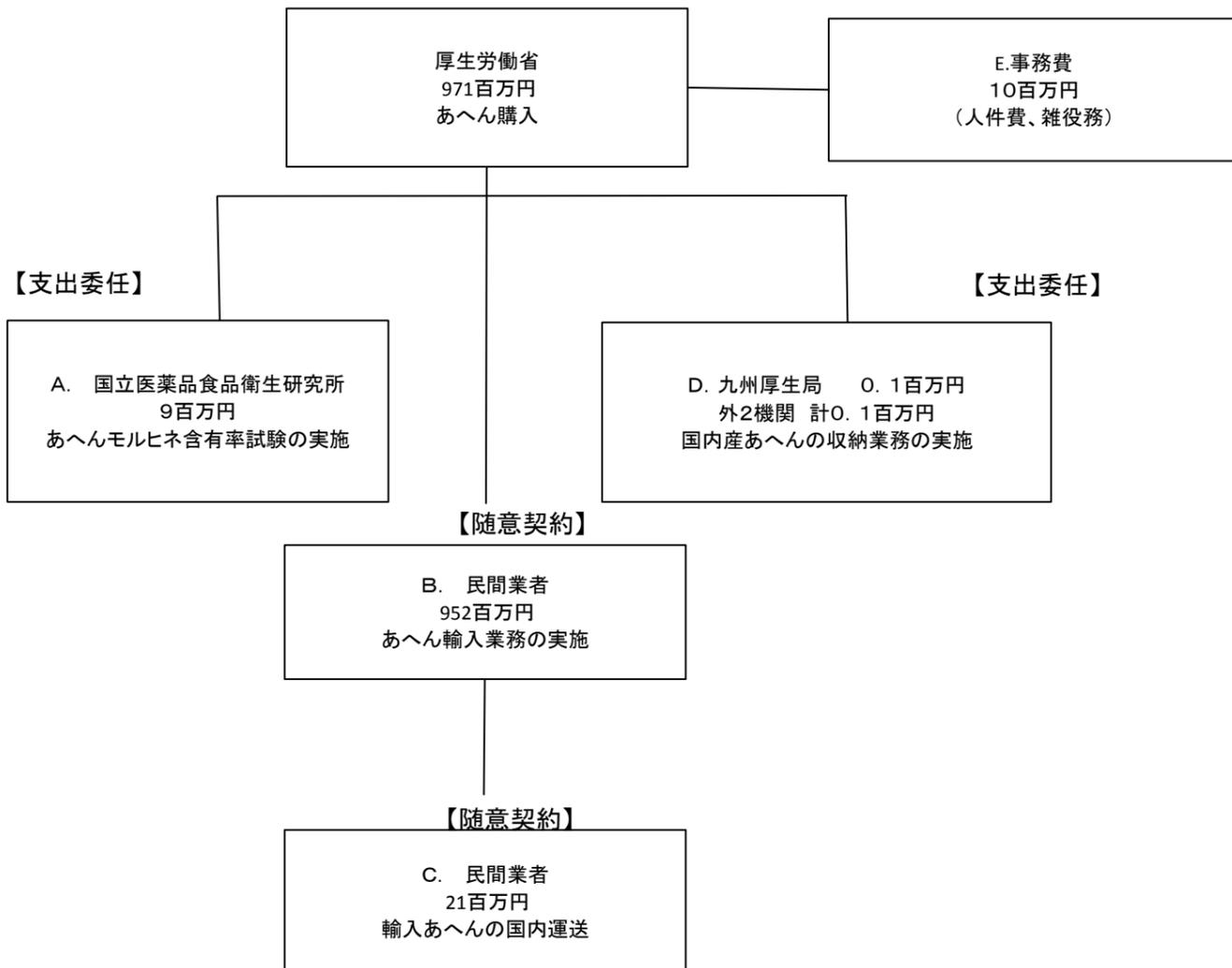
平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	あへん供給確保事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和60年度 ※特別会計での事業であったが上記年度より一般会計に変更		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 中井川 誠		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-3 麻薬・覚せい剤等の乱用を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	あへん法第2条、第6条、第32条、第33条		関係する計画、通知等	がん対策推進計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療及び学術研究の用に供する「あへん」の供給の適正を図るために必要な事業を行う。 (注)1961年の麻薬に関する単一条約は、あへんの海外からの購入・輸入等は国が独占するよう求めている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を、国内の需要・供給量を踏まえ、インド政府及び国内のけし耕作者より購入し保管する。 2. あへんの国内価格決定を行うため、インド政府から購入した「あへん」のモルヒネ含有率試験を実施する。 3. 国内産あへんの収納業務及び災害補償業務を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1097	930	1097	1057	1028	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	1097	930	1097	1057	1028	
	執行額	975	895	971				
	執行率(%)	89%	96%	89%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	必要見込みに基づくあへん確保量		成果実績	kg	82,200	91,380	132,000	119,580
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内産あへん及び外国産あへんのモルヒネ含有率試験		活動実績 (当初見込み)	件	80	88	120	106
						(120)	(106)	
単位当たりコスト	7,211(円/kg)		算出根拠	執行額/あへん輸入量				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	あへん需給調査旅費	2.0	2.0	外国産あへん購入に係るあへん輸入量及びFOB価格の減に伴う減額				
	あへん等取扱業務庁費	19.0	18.9					
	各所修繕	0.2	0.2					
	あへん購入費	1,035.6	1,006.3					
	けし耕作者災害補償費	0.2	0.2					
計	1,057	1,028						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国内で必須の医療用麻薬を供給するための経費であり、需要供給を踏まえた購入量となっていることから、大幅な見直しは困難。しかしながら、民間事業者の輸入業務代行料について、平成10～21年度までは一定率で固定されていたものを、各種のデータを精査し、平成22年度において引き下げを行った。今後とも、各種データを精査し、可能な範囲で引き下げる方向で見直していきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>医療及び学術研究用のあへんの供給の適正化に必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

○あへん供給確保費

費目・使途資金  
の流れ  
資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する) (単  
位: 百万円



<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載)	A. 国立医薬品食品衛生研究所			E.事務費		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	備品費	研究機器購入費	3	人件費	非常勤職員賃金	7
	消耗品費	事務用品購入費	3	雑役務費	施設保全業務委託費	1
	光熱費	水道料金、電気料金、ガス料金	2			
	雑役務費	研究機器保守費	1			
	計		9	計		8
	B. 民間業者			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	原材料費	あへん購入費	824			
	運搬費	航空輸送費、輸送保険料	68			
	その他	人件費、旅費交通費等	39			
	委託費	国内運送費	21			
	計		952	計		0
	C. 民間業者			G.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	運搬費	国内運送費	21			
	計		21	計		0
	E.事務費			H.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	非常勤職員賃金	7				
雑役務費	施設保全業務委託費	1				
計		8	計		0	

支出先上位10者リスト

A. 国立医薬品食品衛生研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島津サイエンス東日本(株)	ガスクロマトグラフ・タンデム質量分析装置 1式	3.5	3	99.97
2	東京都水道局長	平成22年7月分 水道使用料	0.8	-	-
3	新日本薬業(株)	(-) -Delta 9-THC 1.0mg/ml (T-005) 50点	0.75	随意契約	-
4	(株)バイオテック・ラボ	Waters UPLC-Quattro Premier 修理 一式	0.7	随意契約	-
5	片山化学工業(株)	10579 JWH-081 100mg 1点 外3点	0.5	随意契約	-
6	新日本薬業(株)	(-) -Delta 9-THC-D3 1.0mg/ml~ 2点 外2点	0.45	随意契約	-
7	東京電力(株)	平成22年12月分 電気使用料	0.39	-	-
8	新日本薬業(株)	(+) -11-Nor-Delta 9-carboxylic~ 5点 外1点	0.37	随意契約	-
9	片山化学工業(株)	10567 AM694 100mg 1点 外2点	0.34	随意契約	-
10	片山化学工業(株)	10644 JWH210 25mg 1点 外1点	0.32	随意契約	-

B. 民間業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間業者	あへん輸入業務委託	952	随意契約	-

C. 民間業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間業者	輸入あへの国内運送	21	随意契約	-

E. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	人件費	非常勤職員賃金	7	-	-
2	セコム(株)	施設保全業務委託費等	1	随意契約	-
3	個人A	職員旅費	0.5	-	-
4	個人B	職員旅費	0.4	-	-
5	新東産業(株)	清掃業務等	0.4	随意契約	-
6	東京電力(株)	電気料金	0.3	-	-
7	サンワ(株)	消耗品	0.1	随意契約	-
8	第一法規出版(株)	システム利用料	0.1	随意契約	-
9	日植アグリ(株)	消耗品	0.1	随意契約	-
10	NTT	電話料金	0.1	-	-